

IFAO 2019 (国際人工臓器学会学術大会) 開催報告

大阪大学心臓血管外科

戸田 宏一

Koichi TODA



2019年11月13日～15日に大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪にて第8回国際人工臓器学会学術大会 (IFAO 2019) と第57回日本人工臓器学会大会 (JSAO 2019) を同時開催させて頂きました。

International Federation for Artificial Organs (IFAO) は、日本人工臓器学会 (JSAO)、欧州人工臓器学会 (ESAO)、米国人工臓器学会 (ASAIO) の国際連合であり、ASAIO, ESAO, JSAOと合同で2年に一度開催されてきました。我が国では2007年 (第2回) に妙中義之先生 (国立循環器病研究センター)、2013年 (第5回) に許 俊鋭先生・小野 稔先生 (東京大学) が大会長を担当されており、今回は澤 芳樹先生と私で担当させて頂きました。

学会テーマを「Futurability」とし、ポスターには大阪大学医学部の大先輩である手塚治虫先生の「鉄腕アトム」をシンボルキャラクターとして使わせて頂きました。国際学会ということで海外からの参加者を集めるために、以下の工夫を行いました。

①参加費・トラベルグラント：海外からの演題応募・参加を促すために1人5万円のトラベルグラントを用意し、67人をサポートしました。また、事前登録参加費も国際学会としては破格の2万円 (メディカルスタッフは8,000円) としました。

②合同シンポジウムの開催：国際心肺移植学会 (ISHLT) にも1万ドル拠出してもらいIFAO-ISHLT Joint Symposiumを行いました。増澤 徹先生主催のアジア環太平洋人工臓器学会 (APSAO) も共催させて頂き、11人のメンバーがアジア・オセアニア地域から参加されました。

③演題登録を増やすもう1つの工夫として、本学会発表演題はArtificial Organsにfast track reviewの形で投稿しやすくしてもらいました。学会中に気づいたのですが、Artificial Organs, The Journal of Heart and Lung Transplantation, Journal of Artificial Organs, ASAIO journal, 前European Journal of Cardio-Thoracic Surgery (EJCTS) から、各々5人のchief editorが学会参加されておられました。彼らを中心としたセッションを組んでも良かったかもしれないと思い反省しております。

④他セミナー、研究会との同時開催：例年通りの日本臨床補助人工心臓研究会 (JACVAS)・セミナーとの同時開催に加えて、日本体外循環技術医学会 (JaSECT) の百瀬直樹理事長のご協力を得て人工心肺のハンズオンセミナーをoff job trainingの一環として開催しました。

⑤モノづくり中小企業と国内外の研究者をつなぐ試みとしてIFAO EXPOを行いました。『下町ロケット』の佃製作所のようなベンチャー企業の励みになれば、と思いました。

⑥特別講演、2つの教育講演、2つの合同シンポジウムを含む18のシンポジウム、8つのランチョンセミナー、2つのイブニングセミナー、1つのモーニングセミナーを企画しました。一般口演はできるだけ減らし、テーマの重なりをなくし、3、4個の会場を分野別に使用しました。一般口演を減らした結果、ポスター発表が増えましたが、お昼と夕方に時間を取り、座長にもついで頂きポスター会場でのface to faceのdiscussionをお願いしました (図1)。

以上の企画に対して世界23か国から121演題、国内からは373演題の登録を頂き、1,200人以上の方が参加されました¹⁾。Social eventとしては、学会前日の11月12日に梅田スカイビルでのWelcome Party、13日には大阪城西の丸庭園大阪迎賓館にてGala Dinnerを行いました。Gala Dinnerの花として、京都祇園の一力茶屋の芸妓さん舞妓さ

■ 著者連絡先

大阪大学心臓血管外科

(〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2)

E-mail. ktoda2002@yahoo.co.jp



図1 IFAO ポスター発表 (左) と IFAO-ISHLT Joint Symposium (右)



図2 大阪城西の丸庭園大阪迎賓館での Gala Dinner

んに来てもらい、笑顔溢れる晩餐となりました(図2)。

以上、本学会を企画するにあたり、多くの先生方に無理な、唐突な依頼をさせて頂きました。配慮の足らなかった点、力不足で実現できなかったことも多々ありましたが、JSAOを中心とした多くの先輩、同僚の皆様のおかげを持ちまして無事開催できたことに感謝申し上げます。

本稿の著者には規定されたCOIはない。

文 献

- 1) Toda K, Sawa Y. Report on 8th congress of International Federation for Artificial Organs (IFAO) in Osaka. Artificial Organs **44**: 526-31, 2020